質問事項　「高齢者と小中学生の交流事業について」

利根中学校　３年　星野（ほしの）　叶羽（かなう）（１９番）

今、全国で少子高齢化が進行しています。私たちが住んでいる沼田市でも、過疎化で人口がどんどん減っている中で高齢者の割合が増えていて、高齢者施設や介護をする人を増やすなど、高齢者に対する施策がますます重要になると思います。だからこそ、介護を大人だけがするのではなく、私たちのような子どもでもできることを今からしていくことが大切だと思います。お年寄りと触れ合うことで、私たちは介護の方法や重要性を学んだり、お年寄りは心のケアができたりすると思います。私たちの学校では、３年生が年に一度、近くの高齢者施設に行って交流をしています。それぞれの学校でそのような交流をしているところもあればしていないところもあるようで、学校任せになっているようです。

私は授業や行事でもっと交流する時間を設けた方がいいと思うのですが、子ども達と高齢者が触れ合う事業として、市ではどのようなことを行っていますか。また、これからどのような対策をしていきたいと考えていますか。教えてください。